

# 平成30年度当初予算の概要

## 一般会計

1093億5027万円  
(前年度比7.4%増)

## 特別会計

679億8077万円  
(前年度比4.4%減)

## 企業会計

223億2220万円  
(前年度比31.3%減)

一般会計、特別会計、企業会計の各予算議案を審議し、全ての予算案を原案どおり可決しました。

一般会計は、中核市移行関係経費やJR大久保駅南側のJT跡地取得に要する経費、保育所待機児童緊急対策に要する経費などが増加したことにより、過去最大の予算規模となっています。また、企業会計については、大蔵海岸整備事業会計を廃止したことにより大幅に減少しています。

## 新年度の重点的な取り組み

### ①新たなステージのまちづくり ～中核市へ移行～

- あかし保健所の運営 (7700万円)
- あかし動物センターの運営 (4536万円)
- (仮称)あかしこどもセンター(児童相談所)の整備 (8億4262万円)



あかし動物センター

あかし保健所

### ②やさしいまちづくり

- やさしいまちプロジェクト  
地域総合支援センターの設置・運営 (4億6142万円)  
ホームドア設置の促進 (1億2611万円)  
認知症対策の拡充 (1900万円)  
犯罪被害者等に対する支援の充実 (800万円)  
更生支援の推進 (444万円)  
やさしい社会の実現に向けた取り組み (350万円)
- 待機児童完全解消プロジェクト  
2000人規模の受け入れ枠の拡充 (37億199万円)  
保育士の確保・保育の質の向上 (1億6934万円)
- みんなの給食プロジェクト (228万円)
- やさしいまち・明石の創造発信  
市制施行100周年記念事業に向けた取り組み (1685万円)



通常の本会議さながらの議会を体験

### 一般質問項目

1. 若者の政治への関心を高める取り組みについて
2. 超高齢化社会の課題への取り組みについて
3. ゴミや食品ロスを減らす取り組みについて
4. 交通事故を減らすための取り組みについて

### 仮想議案

明石市スマートフォンの適正使用の促進に関する条例制定のこと

明石市議会では、未来を担う若者が議会や市政への関心を高め、まちへの愛着を深める機会として、平成30年2月17日に高校生議会を開催しました。

### 高校生議員が質問



時にはパネルも使って

取り組みなどについて事前にグループごとで話し合った内容をもとに質問を行い、市議会議員がそれに対する見解等を述べました。また、市議会側からは、市内の高校に通学する高校生のスマートフォン利用に一定の規制を設ける仮想の「明石市スマートフォンの適正使用の促進に関する条例」を提案し、この

## 未来を担う若者が市議会へ

### 高校生議会を開催

条例案に対して、高校生議員が賛成・反対の立場から討論を行いました。採決の結果、賛成少数で議案は否決されました。

終了後は、高校生と市議会議員が、当日の感想や市議会議員に聞いてみたいことなど、和やかな雰囲気の中で意見交換しました。



高校生議長が議事進行



笑顔で意見交換

## 会派名簿

真誠会			
林 健太	寺井 吉広	千住 啓介	辰巳 浩司
三好 宏	穠原 成人	山崎 雄史	深山 昌明
坂口 光男	井藤 圭滸		

公明党			
尾倉あき子	国出 拓志	佐々木 敏	絹川 和之
松井久美子	梅田 宏希		

未来市民			
北川 貴則	丸谷 聡子	中西 礼皇	永井 俊作
遠藤 恒司	出雲 晶三		

民主連合			
久枝 陽一	宮坂 祐太	尾仲 利治	

日本共産党			
楠本 美紀	辻本 達也		

スマイル会		青風会	
家根谷敦子		大西 洋紀	

(会派別・議席順/3月31日現在)